



足利の未来を考える会

2023年2月

発起人 三田研三

若人のための制度づくりを提案します。

足利市の人口減少を抑えるため 第3子の出産者にお祝い金 100万円
第4子の出産者にお祝い金 200万円支給する制度を創る

足利市の人口 2022年は、人口が約2000人減少しました。
2040年は、人口約10万人を割ってしまうでしょう。つまり約4割の人口が減ってしまうでしょう。

足利市はよく財源がないと、いろいろな人から聞きます。

足利市の市会議員の人数は、宇都宮市との比率で約2倍います。

宇都宮市の人口約51万人÷議員数45人=約11,300人に1人

足利市の人口約14万÷議員数24人=約5,800人に1人 つまり率で倍いるわけです。



そこで私は考えました。

財源のために、市議会議員の数を、人口約1万人に対して1人にします。

政務活動費や、手当などを廃止する。



いろんな事業を見直して少しずつ予算を集めてくるそうすることで財源はまかなえる

のではないかと？市会議員はこうした大事なことを避けているように思います。

納めた税金の使い道、生活に直結する問題は自分たちで決める。

そのための代表者を選ぶ選挙です。

ところが若人の投票率は低いとりわけ **18～30歳代の若い世代の棄権**
が目立っています。人口減少と少子高齢化の加速で足利市が疲弊するなかで将来の足利市のため
に今こそ子育て支援を徹底的に進める必要があります！！

1月9日のテレビのニュースでは政治家は30年前からわかっていた少子化問題を何とかしなければ
行けないと言いながら30年間なにもしてこなかった。それが今の現実です。

足利市県町 1466 三田洋服店 080-7947-5289
発行者/ 三田研三 後援会